



侵入防止柵の 大規模補修への 早急な対応を

荻野正己議員は、「集落周辺の田畑へのイノシシ等の侵入防止のために補助事業を活用し、ワイヤーメッシュ柵を全長1.35km設置した。その中の約60mにわたり柵が、予期せぬ豪雨等で斜面上部から土砂が崩落し押し倒された状態で、大規模補修で費用負担も大きく、市に支援を要望している。一度現場の状況を確認した上で柔軟な対応をしてほしい」という市民の相談を取り上げ、市の早急な対応を求めました。市長は、「県・市の事業では、新規案件を優先するため、修繕・更新は対象外。代替手段の中山間地域等直接支払や多面的機能支払制度の活用をお願いしている」と答弁。

荻野議員は、「小さな補修ならともかく、今回の事例は、大規模補修で費用負担が大き過ぎ、通常管理では防げない自然災害、緊急事態であり、市として弾力的対応が必要だ」と質した。市長は、「同様の被害を繰り返さないためにも現地の状況を調査する必要がある。どういった支援が行えるか検討したい」と答弁。

荻野議員は、今回のような自然災害という想定外の救済制度がないなら、市独自でつくるよう求めました。



就学援助制度の 学校給食費は全 額支援すべき!!

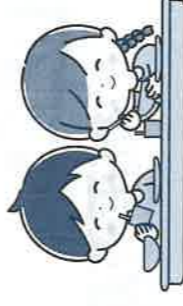
長引くコロナ禍に加え、食料品等の物価の値上がりは、子育て世帯の家計へのさらなる負担増となっています。自治体の中には、物価の高騰を受けて学校給食の無償化に踏み切るところが出ています。

伊藤いく子議員は、「物価の高騰という緊急時であるからこそ、鳥取市でも学校給食の無償化に踏み切るべき」と市の姿勢を質しましたが、教育長は、「全額無償化した場合、年間で約8億8,700万円程度が必要」「市全体の施策とのバランスもあり、慎重に検討が必要」という答弁にとどまりました。

さらに**伊藤議員**は、就学援助制度の学校給食費について質問。62ある中核市の中で、鳥取市以外は全額支援していると指摘し、「給食費の3割自己負担はなくして、全額支援すべき」と求めました。しかし、教育長の答弁は、「学校給食費以外にも支給対象の項目がある。オンライン学習に係る通信費の拡充、新入学児童・生徒の学用品費などの単価引き上げを行った」「現時点で、就学援助費の学校給食の全額支援は考えていない」というものでした。

伊藤議員は以前、全額支援に3,000万円かかると言われたことから紹介し、「この3,000万円が出せない金額なのか。こんな時だからこそ、全額支援すべき」と市長に答弁を求めましたが、「給食費だけではなく、全体で就学費に対する支援の内容の充実を図っていく」と述べるだけでした。

そもそも就学援助制度とは、生活保護に準ずる程度に生活に困窮している世帯への支援です。だからこそ、学校給食費の全額支援の実現に引き続き力を尽くしていきます。



今こそ日本政府は核兵器禁止 条約の批准を!

「日本政府に核兵器禁止条約の批准を求める意見書の提出を求める請願」が鳥取県原爆被害者の会、鳥取県生活協同組合連合会、原水爆禁止鳥取県協議会の3団体連名で提出されました。「プーチン大統領による核使用の威嚇に世界は直面しているからこそ、日本は、核兵器禁止条約の批准をすべき」という請願趣旨に賛同し、党市議団は岩永議員が紹介議員になりました。

岩永議員は「軍事的緊張が高まれば高まるほど、核兵器の使用の危険は高まる。未来の子どもたちが核戦争の危機にさらされないようにするため、今こそ、核兵器廃絶に向けて、真剣に努力するとき」と訴えましたが、結果は賛成12、反対19で否決。賛成したのは日本共産党、会派未来ネット、無所属の各議員です。

党市議団

「消費税率5%への緊急引き下げを求 める意見書」「消費税インボイス制度 の実施中止を求める意見書」を提案

あらゆる物価の値上がりで国民生活に深刻な影響をもたらしています。とりわけ生活必需品の高騰は、低所得者ほど打撃が大きく、原材料や資材の高騰は中小企業・小規模企業、個人事業主の営業を圧迫、肥料や飼料等の値上がりは農業や畜産にも深刻な影響を及ぼしています。それだけに、すべての物価を一気に引き下げる消費税の減税が必要です。

また、来年10月からインボイス制度が実施されようとしています。消費税の免税事業者が取引から排除される懸念があり、フリーランスやシルバー人材センター、販売農家にも影響が及びます。地域経済に与える影響は大きく、さらなる負担増となるインボイス制度の実施は中止すべきです。

以上の立場から、党市議団として2つの意見書を国に提出することを提案しましたが、いずれも賛成少数で否決されました。

◇消費税率5%への緊急引き下げを求める意見書の提出について
賛成＝共産党4人、未来ネット6人、無所属2人

◇消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書の提出について
賛成＝共産党4人、未来ネット6人、無所属1人